

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	職業性ストレス変化に伴う耐糖能への影響
研究機関名	金沢医科大学 医学部 衛生学
研究機関の長	学長：神田 享勉
研究責任者	金沢医科大学 医学部 大学評価情報室・衛生学 石崎昌夫
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2025 年 3 月
対象者	YKK グループ（黒部・滑川地区で、YKK 株式会社・YKKAP 株式会社とその関連会社）に勤務した従業員のうち、職業性ストレス調査（1996 年、2002 年、2007 年、2012 年、2015 年）にそれぞれ同意回答し、かつ回答後の毎年の健康診断結果（最長 2020 年まで）を入手できる方。
当該研究の意義・目的	<p>job demands-controlモデルで評価される職業性ストレス悪化（仕事要求度が高い状態、仕事コントロール度が低い状態、または仕事要求度が高くかつ仕事コントロール度が低い状態(job strain)）は虚血性心疾患や抑うつ状態、耐糖能異常などの健康問題に関与していると言われていています。このなかで、この職業性ストレス悪化と耐糖能異常、特に2型糖尿病(以下、糖尿病)発症の関係は多くの縦断研究より報告されています。しかし、これらの報告の多くは、ベースラインでの職業性ストレスや交絡要因のみを評価しており、その観察期間途中の職業性ストレス変化は考慮していません。さらに、幾つかのメタ解析ではこの職業性ストレスと糖尿病発症の関係は一致していません。</p> <p>また、2019年全国調査(国民健康・栄養の現状)によると、40歳から74歳までで耐糖能異常を示す者(HbA1c 6.0%)が約28%を占めています。このような状況下で耐糖能悪化予防は、現在、重要な健康管理活動の一つになっています。今回の調査研究で職業性ストレスと耐糖能異常の関係を検討することにより、その結果次第では新しい視点からの働く人の耐糖能悪化予防活動につながる可能性があります。</p> <p>そこで、労働者の健康に影響を及ぼす心理社会的要因である職業性ストレスの悪化が耐糖能異常の原因のひとつとして考えられるか否か。もしそうであれば、職業性ストレスが改善すれば、耐糖能異常は改善するのか（可逆性はあるのか）という疑問に対して、今回の研究目的は、後ろ向きコホート研究（2回）により、職業性ストレス変化に対する耐糖能変化を検討することで の関係を明らかにすることにあります。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>本研究は、1996年と2002年に行った職業性ストレス回答結果と、その回答時点から2012年までの健康診断結果を合わせて、2012年までの耐糖能異常の有無を検討します。同様に、2007年と2012年に行った職業性ストレス回答結果と、その回答時点から2020年までの健康診断結果を合わせて、2020年までの耐糖能異常の有無を検討します。なお、解析する資料は、YKK健康推進室で氏名・従業員番号・住所を削除したうえで研究者に渡されます。なお、健康診断結果を解析対象とするので、職業性ストレス変化とメタボリック症候群の関係性も副次的に評価します。</p> <p>< 2 回検討を行う目的 > 時期をずらした調査研究を 2 回おこなうことで、時間経過によ</p>

	<p>る働き方を含む様々な社会状況変化のなかでも、職業性ストレスと耐糖能変化の関係性が再現可能か否かの検討が可能になります。すなわち、関係の強固性を確認することになります。</p> <p>この研究は、既存資料を用いるため対象の皆様には新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。</p> <p>なお、得られた研究データは、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。</p> <p>また、この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。</p>
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる研究データは最初から個人の判別が出来ない状態で収集されます。そのため、今回の研究では、ご本人に関する解析結果を個別にお知らせする事は想定しておりません。
研究代表施設・代表者	金沢医科大学医学部衛生学 石崎昌夫
研究組織	金沢医科大学医学部衛生学 石崎昌夫 櫻井勝 金沢医科大学看護学部 森河裕子
間合せ先	<p>その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学医学部衛生学 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3211 内線（3024）（担当 石崎昌夫）</p> <p>YKK健康推進室 黒部健康管理センター 住所：富山県黒部市吉田200 ☎：（代表）0763-54-8151 内線（3925）（担当 松原孝子）</p>

作成日： 2022年8月10日